

巡礼者イニゴ

聖イグナチオ・デ・ロヨラの劇的な生涯の劇

鹽野 めぐみ

18

第五幕 第1場

モンセラットの手前の村

登場人物： 巡礼者 イニゴ・デ・ロヨラ
店の人
婦人客 1
婦人客 2

【語り】ラバの導き？で、からくも無益な流血を避けることが出来たイニゴは旅をつづけ、目指すモンセラットに近づいてきた。

イニゴ： ああ やっとモンセラットに近づいてきたぞ。あののこぎりのようなギザギザの山からモンセラットの名がついたと聞く。この世の騎士から神の騎士へと生まれ変わる準備に取りかかろう。まずこの(貴族の)服を、(巡礼者の服へ)着替えなければ。

【語り】イニゴは、モンセラットにほど近い とある村にさしかかり、穀物や衣料品などを売っている店を見つけ、中に入っていく。

イニゴ： 今日は。

店の人： いらっしゃいませ。何をお求めですか？

イニゴ： そこにある布を見せてください。いえ、それだけでなくその鼠色のものを。そう、それです。

店の人： これですか！？ 何になさるおつもりですか？

イニゴ: これで、着物を作ってもらいたいのです。

店の人: これを生地にして着物を作るのですか?

ごわごわして着心地が悪いでしょう!

婦人客 1: そうですよ。肌にもチクチクし我慢できなくなるでしょう。

これは服地ではなく、穀物を入れる袋用なのですから。

婦人客 2: 悪いことは言いません。こっちの棚のどれかになさいますし。

それを着るのは無理ですよ。それに、今お召しになっている騎士の装いは

カッコよく、お似合いですよ。

イニゴ: 今欲しいのは、あまり目立たず、カッコ悪いほうがいいのです。

長い距離を歩きやすい、ゆったりとした服に仕立ててください。

それから、水を入れるひょうたと杖をください。

店の人: ラバから降りて歩くのでしたら、草履もいるでしょう。

そうでないと包帯がすぐ汚れてしまうでしょう。

【語り】 かくしてイニゴは買ったものをラバの鞍に括り付け、モンセラットの大聖堂へ向かったのであった。

イニゴ: 最後の上り坂はきつかったなあ。ラバよ、お前もよく頑張ってくれたね。

ありがとう。そろそろお前ともお別れだ。さあ修道院の玄関についた。

(ピンポ〜ン…はまだない。)

(扉をたたきながら) 御免ください!

【黒い天使の合唱】

♪イニゴよイニゴ 本気かよ? こいつは参った 魂げたよ
それならこっちも 本気になって 邪魔だてしてやる なめんなよ

【白衣の天使の合唱】

♪ああイニゴ 世俗の衣 ^{いさぎよ} 潔く 捨てむとす 今

まず先に 心清めて キリストの 衣を纏^{まと}え